

公益財団法人 一新会
令和2年度 事業報告

公益事業1：色覚に関する研究および啓発に関する事業

公益事業2：色覚に関する助成および色覚異常者のバリアフリーに関する事業

1. 色覚検査表の検討、印刷および販売に関して以下の事業を行う。 (公1)

1) 石原色覚検査表の製作・発行

国内版として石原色覚検査表 II (38表、24表、14表) の製作、発行を行う。海外版として Ishihara Test for Colour Deficiency: Official Version (38、24 Plates) を製作、発行し海外への普及啓発に努めた。

2) 知的財産としての石原色覚検査表の保護

商標登録の認可を得た「石原式」、「Ishihara」および石原色覚検査表の「ロゴ」を通して正式の石原色覚検査表の普及に努めた。

3) 色覚検査表の品質の維持・改良

現在まで発行している検査表について測色計を用いて色見本を測色し、品質の維持・改良のための資料を作成した。

4) 色覚検査に関する啓発活動

学業、職業適性での色覚検査の重要性および色覚異常に関する適正な知識の啓発を眼科医会、教育委員会と連携して行った。

5) 色覚検査表の経年変化の検討

検査表の品質価値の保持を目的に経年変化の検討を行った。

6) 新たな色覚検査法の開発

視機能での色覚認知に関する理論に基づいて仮性同色理論とは異なる先天色覚異常の型分類と程度分類を可能にする波長弁別閾値、比視感度理論に基づく新たな色覚検査法を開発を行った。

2. 石原忍撰近距離試視力表の普及啓発事業 (公1)

写真版による石原忍撰近距離試視力表の発行、普及啓発を行った。

3. 定款に基づくその他の事業の実施

1) 色覚検査に関する啓発・協力 (公1)

a. 色覚検査表の転載許可、色覚に関する文献および資料収集行い、かつそれらの資料提供に協力した。

- b. 第124回日本眼科学会総会において色覚に関する第12回一新会セミナーを厚生労働省の後援のもと開催することとしたが、コロナ感染症に寄り学会が Web 開催となったために中止とした。
 - c. 第125回日本眼科学会総会において第13回一新会モーニングセミナー開催の準備を行った。
 - d. 日本眼科医会、日本眼科学会、各地の教育委員などの組織に協力して色覚に関する啓発を行った。
- 2) 色覚研究に対する助成 (公2)
色覚研究を行っている各種団体に対する助成を行った。
 - 3) 色覚異常者のバリアフリーに対する助成 (公2)
色覚異常者のバリアフリーの推進にむけて学会、行政などと協力して活動を行った。
 - 4) 文化事業に対する助成 (公2)
医学知識の普及による視機能の維持、健康に関する活動を助成した。

4. 理事会の開催

色覚検査表および色覚検査について検討をするための理事会を原則として隔月、定期的で開催することとしたがコロナ感染症のためにすべて Virtual Meeting. とした。

5. 評議員会の開催

定款に基づき公益財団法人の評議員会を Virtual Meeting として開催した。

6. 総会の開催

会員の親睦ならびに色覚に関する諸問題についての検討をするために総会開催を予定したがコロナ感染症のために開催を中止した。